

## 09

## スライドを追加しよう

## ここで学ぶこと

- ・新しいスライド
- ・コンテンツ
- ・レイアウト

タイトルスライドを作成したら、**新しいスライドを追加**します。スライドにはさまざまな**レイアウト**が用意されており、スライドを追加するときにレイアウトを選択したり、あとから変更したりすることができます。

練習 ▶ 09 完成 ▶ 09a

## 1 新しいスライドを挿入する

## 2

## スライド作成の基本を覚えよう



解説

## スライドの挿入

スライドの挿入は、[ホーム]タブの[新しいスライド]のほか、[挿入]タブの[新しいスライド]からも行えます。



重要用語

## コンテンツ

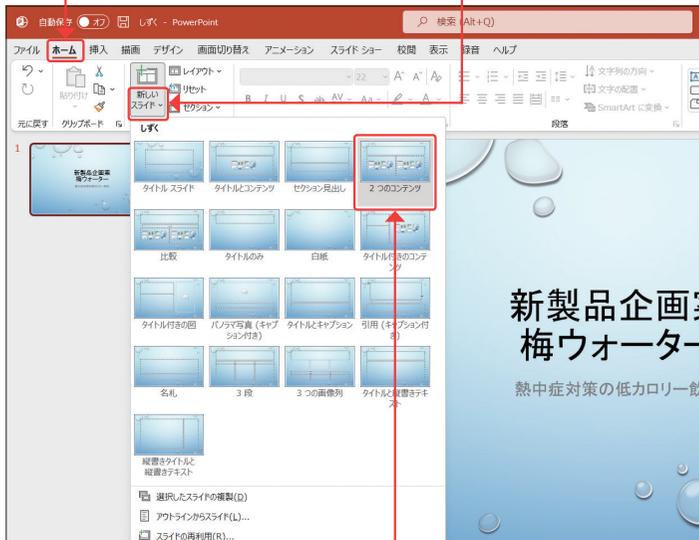
「コンテンツ」とは、スライドに配置するテキスト、表、グラフ、SmartArt、図、ビデオなどのことです。手順**4**でコンテンツを含むレイアウトを選択すると、コンテンツを挿入できるプレースホルダーがあらかじめ配置されているスライドが挿入されます。

- 1 サムネイルウィンドウで、スライドを追加したい位置の前にあるスライドをクリックし、



- 2 [ホーム]タブをクリックして、

- 3 [新しいスライド]のここをクリックし、



- 4 目的のレイアウト (ここでは [2つのコンテンツ]) をクリックすると、

## 13

アウトライン機能で  
スライドを作ろう

## ここで学ぶこと

- ・アウトライン表示モード
- ・タイトルの入力
- ・テキストの入力

**アウトライン表示モード**では、左側のウィンドウに各スライドのテキストだけが表示されるので、デザインや書式を意識せず、プレゼンテーション全体の構成や内容に集中できます。ここでは、アウトライン機能の基本的な利用方法を解説します。

📁 練習 ▶ 13 完成 ▶ 13a

## 1 アウトライン表示モードに切り替える

アウトライン表示モードへの  
切り替え

アウトライン表示モードへ切り替えるには、[表示] タブの [アウトライン表示] をクリックします。

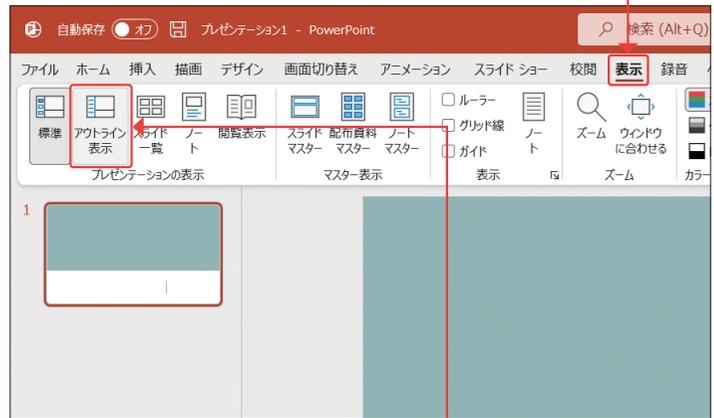
アウトライン表示モードでは、左側のウィンドウにすべてのスライドのタイトルとテキストが表示され、右側のスライドウィンドウにスライドが表示されます。



## 標準表示モードに戻すには？

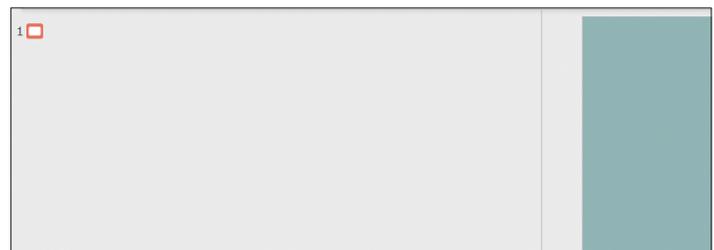
アウトライン表示モードから標準表示モードに戻すには、[表示] タブの [標準] をクリックするか、ステータスバーの [標準] をクリックします。

1 [表示] タブをクリックして、



2 [アウトライン表示] を  
クリックすると、

3 アウトライン表示モードに  
切り替わります。



## 22

すべてのスライドに  
会社名や日付を入れよう

## ここで学ぶこと

- ・フッター
- ・スライド番号
- ・セクションの作成

すべてのスライドに**会社名**や**日付**、**スライド番号**を挿入したいときは、「フッター」を利用します。日付は、プレゼンテーションを開いた日を自動的に表示させる〔自動更新〕か、任意の日付を表示させる〔固定〕を選択することができます。

📁 練習 ▶▶ 22 完成 ▶▶ 22a

## 1 フッターを挿入する



## ヒント

自動更新の日付を  
挿入するには？

右の手順では、任意の日付が表示されるように設定していますが、自動更新される日付を表示させることもできます。なお、〔言語〕で〔日本語〕、〔カレンダーの種類〕で〔和暦〕を選択した場合は、時刻を表示させることはできません。

## 1 [自動更新]をクリックして、



## 2 言語を選択し、

## 3 カレンダーの種類を選択して、

## 4 表示形式を選択します。

## 1 [挿入]タブをクリックして、

2 [ヘッダーとフッター]を  
クリックし、3 [スライド]を  
クリックして、5 [固定]を  
クリックして、

## 6 日付を入力します。

## 25

## 見出しと本文のフォントの組み合わせを変更しよう

## ここで学ぶこと

- ・フォントパターン
- ・テーマのフォントの変更
- ・オリジナルのフォントパターンの作成

テーマには、**英数字の見出しと本文**、**日本語の見出しと本文**の4種類のフォントを組み合わせた**フォントパターン**が用意されています。テーマはそのまま、フォントパターンだけを変更することができます。

練習 ▶ 25 完成 ▶ 25a

## 1 フォントパターンを変更する



## テーマのフォントの変更

テーマにはそれぞれのフォントパターンが用意されており、[ホーム]タブの[フォント] (86ページ参照)の一覧に、[テーマのフォント]として表示されます。テーマのフォントパターンは変更ことができ、スライドのデザインはそのまま、見出しと本文のフォントの組み合わせだけを変更することができます。

1 [デザイン]タブの[バリエーション]グループのここをクリックして、



2 [フォント]をポイントし、



3 目的のフォントパターンをクリックすると、

## 27

## 段組み設定で情報を整理しよう

## ここで学ぶこと

- ・ 段組み
- ・ 段数
- ・ 段の間隔

テキストの行数が多くなると、自動的にプレースホルダーにおさまるようにフォントサイズが小さくなります。文字が小さかったり、多かたたりして読みづらい場合は、**段組み**を設定すると、読みやすくなります。

練習▶27 完成▶27a

## 1 テキストを2段組みに設定する

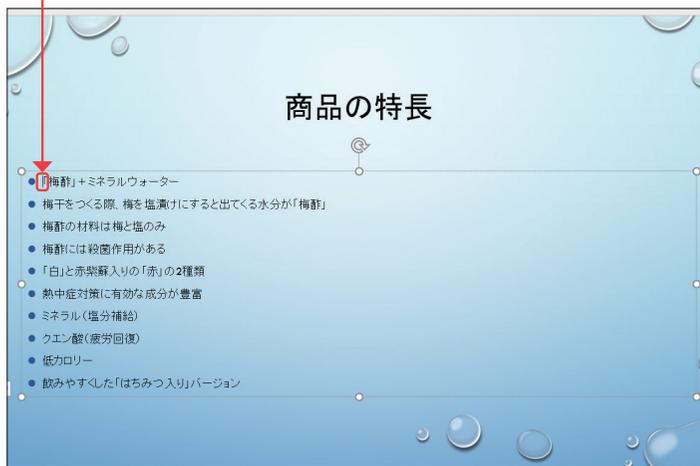
## 解説

## 段組みの設定

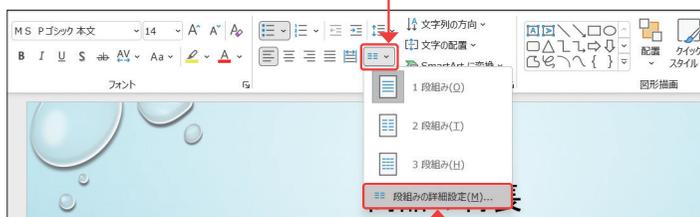
[段組み]ダイアログボックスを利用すると、段数と間隔を指定して段組みを設定することができます。

また、手順**3**で[2段組み]または[3段組み]をクリックしても段組みを設定できますが、その場合、間隔を指定することができません。

1 プレースホルダーの内側をクリックして、



2 [ホーム]タブの[段の追加または削除]をクリックし、



3 [段組みの詳細設定]をクリックします。

## 30

## 段落の配置や行の間隔を変更しよう

## ここで学ぶこと

- ・中央揃え
- ・右揃え
- ・行の間隔

段落の左右の配置は、左揃え、中央揃え、右揃え、両端揃え、均等割り付けに設定することができます。また、テキストの行数が少なく、プレースホルダーに余白が多い場合は、**行の間隔を広げると**、バランスがよくなります。

練習▶30 完成▶30a

## 1 段落の配置を変更する

## 解説

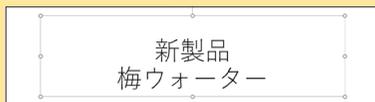
## 段落の配置

プレースホルダー内の段落の左右の配置は、次の5種類から設定できます。

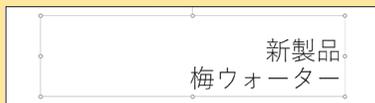
## [左揃え] ≡



## [中央揃え] ≡



## [右揃え] ≡



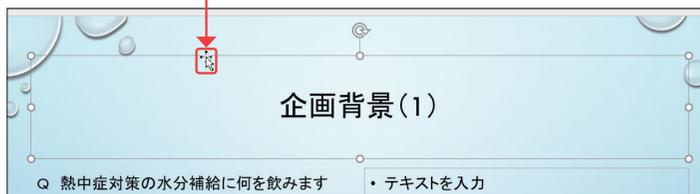
## [両端揃え] ≡



## [均等割り付け] ≡



- 1 プレースホルダーの枠線をクリックしてプレースホルダーを選択し、



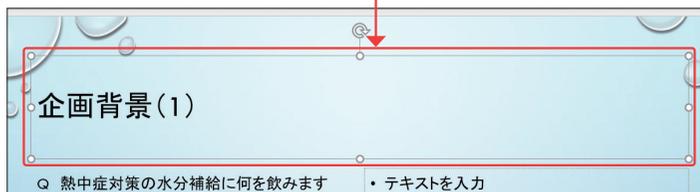
- 2 [ホーム] タブをクリックして、



- 3 [左揃え] をクリックすると、



- 4 段落が左揃えに変更されます。



## 52

## スライドに表を挿入しよう

## ここで学ぶこと

- ・表
- ・セル
- ・スタイル

表を作成するには、プレースホルダーの[表の挿入]をクリックして、[表の挿入]ダイアログボックスで**列数と行数を指定**し、表の枠組みを作成します。また、表にはさまざまな書式の「**スタイル**」が用意されています。

練習 ▶ 52 完成 ▶ 52a

## 1 表を挿入する

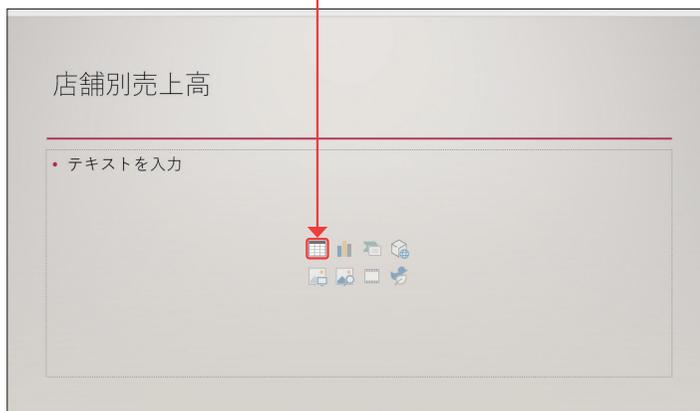
## 重要用語

## 列・行・セル

「列」とは表の縦のまとまり、「行」とは横のまとまりのことです。また、表のマス目を「セル」といいます。

## プレースホルダーから挿入する

1 プレースホルダーの[表の挿入]をクリックして、



表の挿入 ? X

列数(C): 5

行数(B): 6

OK キャンセル

2 表の列数と行数を入力し、

3 [OK]をクリックすると、

## 70

## 画像の不要な背景を削除しよう

## ここで学ぶこと

- ・ 背景の削除
- ・ 削除する領域
- ・ 保持する領域

商品画像など、被写体の輪郭を目立たせたい場合は、**画像の背景を削除**します。背景を削除する場合は、背景がシンプルなもの、被写体と背景の色が似ていない画像を選ぶと、きれいに削除できるでしょう。

練習 ▶ 70 完成 ▶ 70a

## 1 画像の背景を削除する

## 解説

## 画像の背景の削除

画像の不要な背景を削除して、被写体だけを切り抜くことができます。右の手順に従うと、画像を判別して、自動的に削除部分が選択されます。

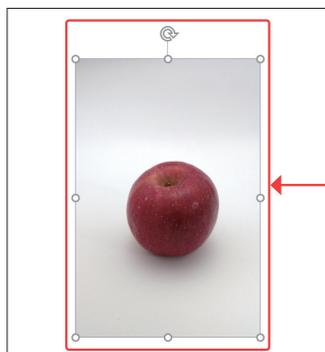
## 7

## 画像や動画を挿入しよう

## 補足

## 削除される部分は紫色になる

削除する部分は、紫色で表示されます。右図の場合、背景の一部が残っているため、削除する範囲を調整する必要があります。

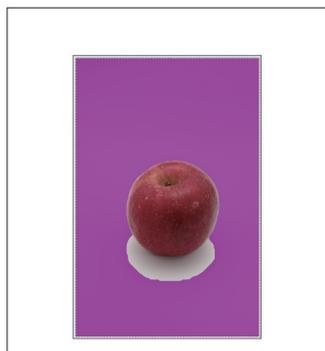


1 画像をクリックして選択し、

2 [図の形式] タブをクリックして、



3 [背景の削除] をクリックすると、



4 画像の削除する部分が紫色で塗りつぶされます。

## 84

# テキストのアニメーション効果を変更しよう

## ここで学ぶこと

- ・テキストの動作
- ・テキストの段落レベル
- ・再生後のテキストの色の変更

アニメーション効果を設定したテキストは、**文字単位で表示**させることができます。また、段落レベルが設定されているテキストの場合は、**段落レベルごと**に再生のタイミングを設定することもできます。

練習 ▶ 84 完成 ▶ 84a

## 1 テキストが文字単位で表示されるようにする



### アニメーション効果の詳細設定

アニメーション効果を選択して、[アニメーション] タブの [アニメーション] グループのダイアログボックス起動ツール をクリックすると、アニメーション効果の名前のダイアログボックスが表示され、詳細を設定することができます。

## 8



### テキストを単語単位で表示するには？

テキストを単語単位で表示するには、手順 **6** で [単語単位で表示] をクリックします。

1 [アニメーション] タブをクリックし、

2 目的のアニメーション効果の再生順序をクリックして選択し、

3 [アニメーション] グループのここをクリックして、

4 [効果] をクリックし、

5 [テキストの動作] のここをクリックして、

6 [文字単位で表示] をクリックします。

企画背景(1)

スライドイン

効果 タイミング テキスト アニメーション

設定

方向(R): 右から

滑らかに開始(M): 0秒

滑らかに終了(N): 0秒

急に終了(B): 0秒

強調

サウンド(S): [サウンドなし]

アニメーションの後の動作(A): 淡くしない

テキストの動作(X): すべて同時

単語単位で表示

文字単位で表示

OK キャンセル

## 91

スライドショーに  
ナレーションを付けよう

## ここで学ぶこと

- ・ナレーションの録音
- ・タイミングの保存
- ・ナレーションの削除

プレゼンテーションには、**ナレーション**を付けることができます。ナレーションに合わせて、**アニメーションの実行のタイミング**や**スライドの切り替えのタイミング**も**保存**できるので、自動的に実行されるスライドショーに利用するとよいでしょう。

練習 ▶ 91 完成 ▶ 91a

## 1 ナレーションを録音する

## 解説

## ナレーションの録音

ナレーションの録音時は、スライドショーを実行しながら録音できるため、ナレーションに合わせて自動的にスライドが切り替わるように設定できます。ただし、スライドの切り替え時にはナレーションが途切れてしまうので、注意が必要です。ナレーションを録音するには、パソコンにマイクを接続する必要があります。なお、手順2、3で[録画]コマンドの表記が[スライドショーの記録]、[先頭から]が[先頭から記録]になっている場合があります。

## ヒント

## 途中のスライドから録音を開始するには？

途中のスライドから録音を開始する場合は、目的のスライドを表示してから右の手順に従い、手順3で[現在のスライドから]([現在のスライドから記録]の場合もあり)をクリックします。

1 [スライドショー] タブをクリックして、

2 [録画]のここをクリックし、

3 [先頭から]をクリックします。

4 [カメラを無効にする]をクリックしてオフにし、

5 [記録]をクリックすると、